

果たすべき3つの責任

～信頼される企業であり続けること～

DNPはCSR(Corporate Social Responsibility)を「あらゆるステークホルダーから常に信頼される企業であり続けること」だと考えています。さまざまな社会の期待に応え、持続可能な社会の発展と自社の成長とを実現し、信頼される企業であり続けるため、3つの責任『価値の創造』『誠実な行動』『高い透明性(説明責任)』を着実に果たしていきます。

1 果たすべき3つの責任 価値の創造

企業が社会のなかで果たすべき最も根源的な第1の責任は「社会に対して価値を提供すること」です。社会の持続可能な発展のために必要な製品やサービスを提供することで、企業も成長していくという関係づくりが求められています。DNPは事業ビジョンを通じて、社会の課題解決に寄与する高い価値を提供し続けていきます。



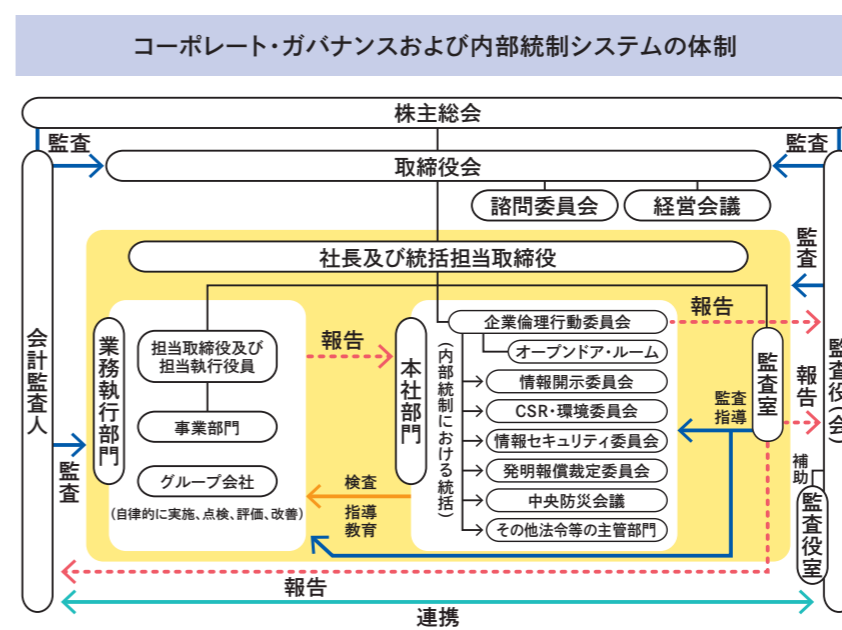
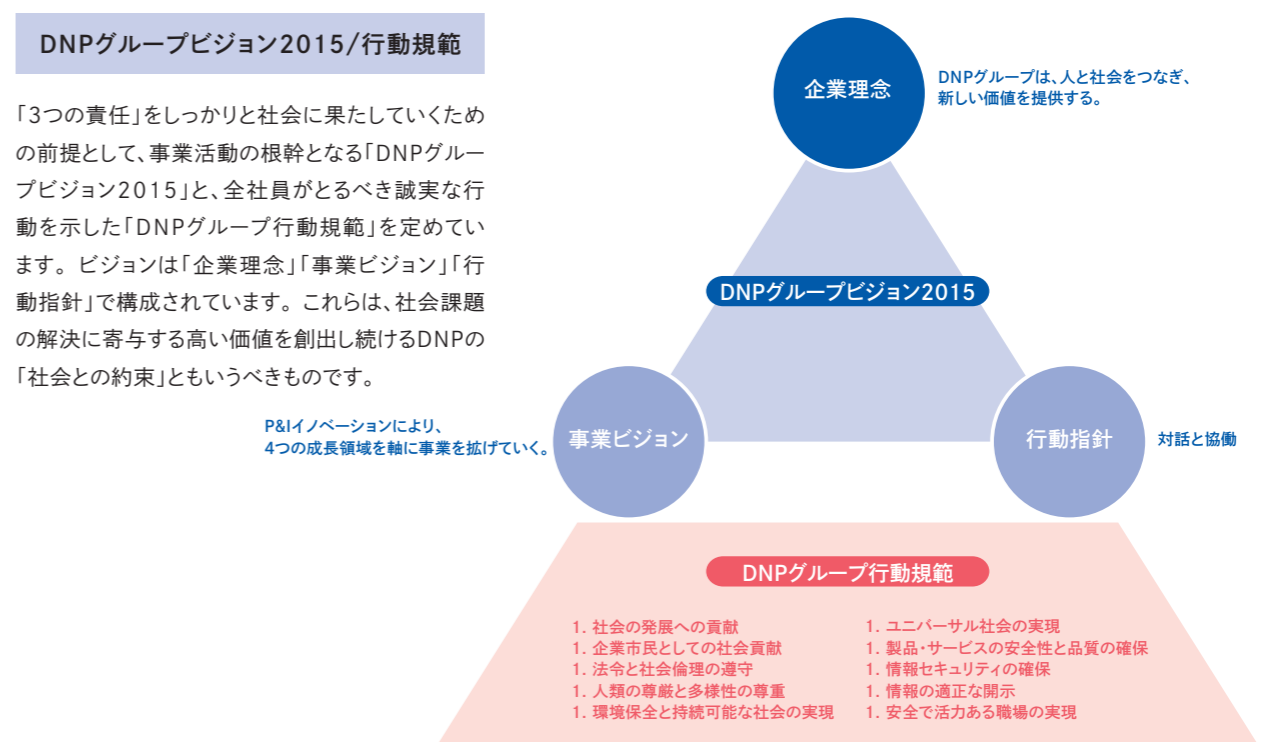
2 果たすべき3つの責任 誠実な行動

第2の責任は「価値創造のプロセスを公正・公平に遂行すること」です。生み出した価値がどれほど優れ、社会に役立つものであっても、価値創造プロセスで環境を破壊したり、法に抵触したりすれば、その価値は損なわれます。DNPの全社員が「DNPグループ行動規範」に則り、常に誠実に行動していくことで、この責任を果たしていきます。

3 果たすべき3つの責任 高い透明性 (説明責任)

第3の責任は、社会に対して「説明責任を果たし、透明性の高い企業になる」ことです。DNPは、全社員が日々の業務においてステークホルダーと「対話」し、相手の意見を聞き、かつ自らも正しい情報を提供していくことで、説明責任を果たしていきます。

DNPが企業の3つの責任を果たしていく上で、根幹となるのが「DNPグループビジョン2015」と「DNPグループ行動規範」です。創業時の舎則「文明ノ業ヲ営ム」の志を受け継ぎ、「新しい価値を社会に提供していく」DNPのあらゆる活動の拠り所となるものです。また、こうした活動を支えるため、コーポレート・ガバナンスおよび内部統制システムの体制を構築し、常に改善を図りながら運用しています。



グループビジョン実現のため、的確な経営の意思決定と、それにもとづく適正かつ迅速な業務執行、ならびにこれらを監督・監査する体制を構築し、常に改善を図りながら運用しています。2016年6月には、その体制の一層の強化のため、社外取締役2名を含む取締役12名の体制としました。また、2016年3月期には、国内で導入が進むコーポレートガバナンス・コードの各原則にもとづき、株主・投資家との対話をより積極的に進める基本方針を公表しました。さらに、取締役候補者の指名や取締役の報酬については、独立社外取締役を構成員とする諮問委員会から助言・提言を得て、経営会議で検討・審議し、取締役会で協議・決議しています。